

平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市中屋敷地域ケアプラザ

■ 事業報告

以下、事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

(1) 地域の現状と課題について

- ・ 北部地区は高齢者サロンと集いの広場が新たに生まれました。また、地域住民の方からの相談により元気づくりステーションが立ち上がりました。地域のボランティアグループも立ち上がり、社会資源が少ないところに多くの活動が生まれました。
- ・ 本郷地区はサロン活動が活発で自治会活動の参加者も多く充実しています。健康を意識した取り組みは継続して活動されています。今年度は5箇所のサロンでカラーリング交流会を開催、サロン同士のつながりが強まりました。ケアプラザの自主事業であった子育て支援事業が地区の団体として立ち上がりました。また今年度は連合町内会の子ども会の活動が終了となり、自治会単位での活動になりました。
- ・ 細谷戸地区は子ども会が休止となりましたが、連合町内会で子ども向けの行事を数多く開催されました。新たに公園が整備され道路が開通し、地域が大きく動いています。団地の空き室を使い住民の方が集える場所とする計画があり、ケアプラザとして立ち上げに関わり支援していきます。
- ・ 第一地区は見守りの普及活動を中心とした「見守り活動実行委員会」が活発に行われました。
「地域から友達づくり、仲間づくり、担い手づくりを助けよう」という目標を掲げ特技を持っている地域住民の方が地域の活動に参加されています。
連合町内会の子ども会が解散となり自治会単位での活動になりました。

(2) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

- ・ 総合相談窓口として地域住民に向けその機能と役割を広報するとともに高齢・子ども障害の各分野に幅広く対応していきました。必要に応じて、関係機関への連絡調整や支援を行いました。こども・障害分野では地域の主任児童委員から相談を受け他ケアプラザと連携を取り、児童相談所、区役所や学校に繋げ適切な支援が受けられるよう支援しました。また、介護保険で繋がらない高齢者を自立生活支援アシスタントへ繋げました。
- ・ 窓口における個別相談だけでなく、ケアプラザの自主事業の開催時や地域団体の会合等あらゆる場を活用し情報提供・ニーズ把握に努め、広く情報が地域に行き渡るように努めました。
- ・ 各地域で行われている関係団体の会議、連絡会や事業に出席し情報提供すると共にケアプラザの機能と役割の広報及び講座の開催をしました。また、ホームページを新しくし、2ヶ月に1回広報誌の掲載を行いました。
- ・ ケアプラザの機能と役割の広報を行うために「ケアプラザへ行こう」を自主事業や各イベントにて配布し機能と役割の広報を行いました。
- ・ 年齢や介護保険の認定の有無に問わず、要望があった地域住民へのレクリエーション用具や介護用品の貸出しを行いました。

- ・ 地域アセスメントから上がった課題を持つ北部地区に向けて、地域の高齢者を募れる体力測定会をきっかけとし健康講座を行い、元気づくりステーションの立ち上げを行いました。(中屋敷 青空会)
- ・ 瀬谷北部友愛活動、体操サークル(すばるの会、4丁目体操サークル)からの相談に応じて支援を行いました。

(3) 各事業の連携

- ・ 毎月5職種での会議を開催し、地域の動向についての情報共有、課題の抽出・検討を行い、地域包括支援センターの専門性と地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターの地域とつなぐ力を活かし、それぞれの地域にあった視点で支援内容を検討していきました。
- ・ 包括が把握した個別の課題を地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターと共有、検討し、必要に応じた地域支援へつなげました。
- ・ 包括・地域活動交流コーディネーター・生活支援コーディネーターの連携で、地域にある様々な個別の課題を抽出し個別レベルのケア会議を幾度か開催しました。そこで上がった課題を包括レベルのケア会議にて検討し地域の課題解決に努めました。
- ・ 地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターが把握してくる地域ニーズを包括につなげ、3部門共催事業としてサロン連絡会を昨年より継続開催しました。
- ・ また、新しい取り組みとして「5職種で共有できる」総合相談表を作成したことで、それぞれの専門的な視点で継続的な支援ができるようになりました。
- ・ 瀬谷北部にて協力事業として開催していた「茶の間で子育て」を横浜市補助事業である集いの広場へ発展させられるよう支援を行いました。

(4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・ 4月に生活支援コーディネーターが異動となり5月より新たな職員が入職しました。ケアプラザでの経験も長く包括、地域活動交流の職員と連携しながら地域支援に努めました。
- ・ 年間を通じて内部研修を実施しケアプラザの職員として資質向上に努めました。
5月：AED取り扱い、6月：コンプライアンス、7月：個人情報、9月：特別避難場所、11月：メンタルヘルス、2月：ハラスメント、3月：人権擁護
- ・ 部署の責任者には法人に設置しているリスクマネジメント委員会、内部監査委員会に参加させ、業務における問題意識を養い仕組みを改善していけるようにしました。
- ・ 利用者アンケートの集計内容を館内に掲示しました。次年度は第三者評価を受ける予定です。評価を通じて施設運営の継続的な改善につなげていきます。

(5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・ エリア内4つの連合自治会町内会を、支援担当職員を配置し、各定例会や地域の関連団体の連絡会に積極的に出席することで、地域課題の把握と連携に努めました。また、地域の防災訓練やレクリエーション大会、単位自治会町内会の祭事へ積極的に参加し、活動者との接点をつくり、ネットワークの構築に努めました。
- ・ 地域の子育てサロンに参加し情報提供を行い支援しました。
- ・ 瀬谷養護学校の児童の職業体験として毎月清掃業務を行ってもらい定期的な関わりを持つよう努めました。春と秋に実習期間として1週間生徒を受け入れ清掃業務を行ってもらいました。また、瀬谷養護交流フェスティバルの実行委員として会議に出席し関係機関や近隣地域と連携をとり広報やイベントの支援を行いました。
- ・ 自立支援協議会の「地域力プロジェクト」に毎月出席しました。障害者への理解を深め地域での障害者とのイベントへ参加しネットワーク構築に努めました。

- ・ 今年度の地域福祉保健推進計画シンポジウムにて瀬谷第一地区と細谷戸地区が見守り活動の発表を行いました。日頃から会合や見守り活動に出席し協力関係を構築できるようにしました。
- ・ 各地区のインフォーマルの問い合わせがあった際に担当につなげ解決するよう支援を行いました。

(6) 区行政との協働

- ・ 地区支援チームに参加しケアプラザが日頃より収集している地域の情報や課題を区行政に提供し情報交換の場となるよう連携に努めました。
- ・ 地域に出向いて得た情報や地区で開催される定例会に出席し、各地区との関わりから得た情報を毎月開催しているケア会議にて区行政と共有しました。課題解決に向けてそれぞれの立場からできる支援を検討していきました。
- ・ 昨年度に引き続き事務局として関わり第三期地域福祉保健計画の推進に向けて、より地域から近い立場として支援しました。
- ・ ケアプラザ計画に基づき2ヶ所にて「音の駅コンサート」を開催し各施設の周知を行うとともに地域を盛り上げるよう支援を行いました。
- ・ 毎月1回、区役所・区社協との地域ケア会議を実施して、把握した情報の整理と課題を共有し、解決に向け取り組み、検討をしました。
- ・ 地区支援チーム活動から依頼を受け、地区の行事の協力を行いました。(本郷地区敬老福祉大会、瀬谷第一地区保健活動推進委員の活動協力、北部地区老人会行事協力、細谷戸地区社協活動協力等)
- ・ 横浜市が健康づくり施策として取り組んでいる「よこはまウォーキングポイント事業」を地域住民の方々に向け、より周知して頂くための活動を区と協働して行いました。(すみれ、青空会、めばえ)

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・ 自主事業を通じて新たな地域福祉のための取組を地域の実情やニーズに合わせて行えるよう努めました。
- ・ 小学生を対象とした余暇支援事業を開催し支援をしました。2種の事業を開催し親子での交流を図る他、長期休暇の自由研究の課題の支援をしました。また、未就園児対象の子育て支援事業では地域のニーズとして多かった「リトミック」を内容へ取り組み参加者向上と親子の交流を図れるよう努めました。
- ・ 障害者支援では中途障害者の集まり「和輪話の会」を継続開催し、新たなリハビリをプログラムに取り入れました。施設内にチラシを掲載した結果、新規参加者が増加しました。
- ・ 「なかやしきふれあい文化祭」は2月から11月へ変更しました。より多くの人達に来てもらうよう3部門と共催し、初日では骨健康チェック・血管年齢測定コーナーと協力医による認知症講話を開催しました。二日目は昨年人気だったバルーンアート&マジックショーを再び出演者に迎え、午後はゴスペルコンサートを開催しました。その他にも登録団体の展示コーナーや作業所に出店を依頼し繋がりを深めることができました。来場者は地区センターと合わせて延べ2,508人となり、とても好評でした。
- ・ 地域の福祉保健団体の自主化後の活動も情報提供を行う等の継続的に支援を行いました。

- ・ 包括支援センターと協働し、地域の相談から上がった高齢者の介護予防インフォマーシャルの立ち上げを行いました。
- ・ 子育て支援事業「いちごクラブ」は本郷地区社協との共催事業として開催しており、自主化に向けて継続的支援を行いました。その結果、30年度より地区社協主催による自主化団体へと発展させることができました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ 貸館の稼働率向上のため、比較的空いている夜間等の利用を登録説明会の際にサークルへ周知し利用してもらえるよう努めました。
- ・ 登録団体説明会を行い、福祉保健活動団体が公平に利用できるように努めました。また、説明会でボランティア募集の案内や、部屋にボランティア募集のチラシを掲示することで福祉保健活動の場の提供を積極的に行っていました。
- ・ ケアプラザ内にて最新の貸館の空き情報3ヶ月分を掲示し、地域住民の方や福祉保健活動団体の方々が有効かつ公平に利用できるよう努めました。
- ・ ケアプラザ内にボランティア募集のチラシ掲示、広報誌にボランティア募集の案内を掲載し福祉保健活動の場を提供しました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ 新たなボランティア、担い手発掘とその支援のためにボランティア応援講座を区社協、ボランティアセンターと共催しました。
- ・ ケアプラザで立ち上がったボランティアグループの連絡会を開催しネットワークの構築や具体的な支援を行いました。
- ・ 地域とケアプラザで活動されているボランティアの方々への感謝会を包括支援センター、生活支援体制整備事業と共催で3月に開催し、ボランティアのモチベーション向上とネットワークづくりに貢献しました。
- ・ 昨年から引き続き、地域のサロン・ミニデイの担い手の方々を対象に連絡会を包括支援センター、生活支援体制整備事業と共催し開催しました。1回目は28年度の開催にて回収をした資料を元に物品貸し借り・人物紹介リストを各サロンに配布しました。また各サロンの活動内容を1つの映像にまとめ上映会を行いました。2回目は前年度同様包括主体によるレクリエーション習得講座を行いました。3回目は各サロンで年間を通して使えるチラシ作りを開催する予定です。
- ・ 介護予防事業で活動しているボランティアメンバーの連絡会を定期的で開催するとともに認知カフェ、認知症サポーター養成講座等の事業にも、引き続き協力してもらえるよう努めました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・ 各地区で行われる会合、催事、サロンに積極的に参加し、ケアプラザが把握している社保健活動団体や人材等の社会資源の情報提供を行いました。
- ・ 区、区社協からの提供データをうけて活用するよう努めました。
- ・ 会議・利用団体等との情報交換から把握したニーズを取りまとめ関係機関に繋げるよう努めました。
- ・ 「中屋敷カローリング交流会」を昨年より継続開催し、登録団体同志の交流をすると共に地域が活性化するよう努めました。参加者は45名15チームで対戦し盛り上がりました。また、この事業を通じてヘルスメイトに協力依頼し、昼食としてカレーを作ってもらい、活動の場の提供を行うと共に周知を行いました。
- ・ ケアプラザで発行している広報誌「ウォーカー」を、4地区の連合自治会へ回覧と掲示板掲載依頼、地域公共施設での設置をし、地域の幅広い世代に情報提供すると共にケアプラザの周知を行いました。

- ・ 福祉保健活動団体の活動内容と募集の要項を広報誌とケアプラザ内の掲示板で紹介し福祉保健活動団体の周知を行いました。その結果、サークルの新規参加者が増えました。また、福祉保健活動団体によるケアプラザー斉清掃を開催し福祉保健活動の場の提供を行いました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・ 地域アセスメント等に基づいた地域支援方針（目標）に設定し、各職種の事業企画への参加協力（認知症カフェ、エンディングノート、ケアマネジャーとの交流会、地域ケア会議、元気づくりステーション、体力測定、サロン・ミニデイ連絡会など）、事業連携しました。
- ・ 瀬谷区内5ケアプラザ・区社協の連絡会で行ったアンケート調査の実施や生活支援事業宣伝活動・各館の情報共有・サービスB勉強会などで得た情報を生活支援事業の活動に役立てました。
- ・ 毎朝のミーティングに参加し、地域包括相談者の報告を受けるとともに地域の活動や連合町内会などの掴んだ情報を報告しました。
- ・ 広報誌ウォーカーに、生活支援体制整備事業の紹介記事、コーディネーターの紹介、サロン・ミニデイ活動の紹介記事を作成し、町内会、サロン・ミニデイ、体操サークルに赴き配布しました。同時に地域交流・包括事業企画チラシも配布しました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・ 要支援者のアンケート調査を実施することができたサロン・ミニデイや体操サークル等へ訪問した記録を作成。訪問時の相談や要望について直接聴取しました。
- ・ 体操サークルの企画（骨ウェーブ、握力測定会）、個別相談を包括に繋ぐことができました。
- ・ 各地区のサービスリストを作成し、医療機関、コンビニエンスストア、サロン・ミニデイ、体操サークルの一覧表ならびに地図に落とし込みを行いました。
- ・ サロン・ミニデイ、体操サークル、連合行事など訪問した記録をとり、地区支援記録にまとめ、他部門と供覧し情報共有しました。個別相談があった場合は地域包括支援センターへ報告・相談をしました（すばるの会の参加者からの相談）。
- ・ 瀬谷北部の民生委員、友愛会、シニアクラブ、本郷地区の民生委員、又はサロン・ミニデイの開催後のミーティングに参加し、活動の内容や各活動の人脈・交流について把握することができました。

(3) 連携・協議の場

- ・ 連合町内会・地区社協・民児協の定例会に出席し、それぞれの活動の把握することができました。議事報告を所内で情報共有し、また「第三期地福計画瀬谷区行動指針」について連合町内会で補足説明を行いました。
- ・ 瀬谷北部地区友愛会の高齢者見守り活動（友愛活動）の案内チラシを協働で作成し、各自治会掲示板で友愛活動を周知することができました。
- ・ 瀬谷北部地区友愛活動の活動目的の「集いの場」の立ち上げについて、定例会で検討しサロンを開設することができました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・ 生活支援コーディネーター連絡会において、各ケアプラザエリアのアンケート調査の実施に向けて質問紙の検討を重ね、地域包括支援センター・他居宅介護支援事業所の協力を得て実施することができました。
- ・ 区社協の共催の配食サービス交流会において生活支援コーディネーターの紹介ができました。又グループワークにおいてファシリテーターとして各団体の情報共有ができました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- ・ 地域の社会資源として、インフォーマルマップの作成と地域のネットワークを把握し生活支援コーディネーターと協力しながら総合事業に向けた活用ができるように情報管理を行いました。
- ・ 4 連合自治会町内会それぞれの各種会議に積極的に参加し包括支援センター・生活支援コーディネーターの紹介チラシを作成、持参し理解が深まるように周知し、顔の見える関係づくりに努めるとともに、地域の現状をとらえました。
- ・ 地域包括支援センター、生活支援体制強化、地域交流との共催で地域のサロン、ミニデイ連絡会を開催することや地域から上がった課題から地域ケア会議を開催し、地域の関連団体や関係機関等多職種との交流を図り支援チームが機能するための基盤となるネットワークの構築を行いました。
- ・ 在宅サポートネットワークへ出席し、多職種との連携に努めました。
- ・ エリア内にあるグループホーム、小規模多機能居宅介護、地域密着デイサービスの運営推進会議に出席し、運営状況や活動内容を把握して地域に根差す事業所となるように支援しました。
- ・ 地域ネットワークシステム構築のためケアプラザ内 5 部門（居宅介護支援事業所、通所介護事業所、地域交流、生活支援体制整備事業、包括支援センター）で月に一度定例会を開催し、地区状況や課題、社会資源マップやリスト等の活用、情報の共有を図りました。

② 実態把握

- ・ 市・区からの地域情報や高齢者の個別訪問を通して、個別ニーズや圏域の情報に努めました。
- ・ 関係機関からの情報収集と、アンケートを実施することで実態の把握に努めました。

③ 総合相談支援

- ・ 高齢者に関する様々な相談を総合的に受け止め、相談内容を分析的に把握して必要な支援につなげました。
- ・ 相談内容に応じた適切な情報（地域資源、一般介護予防事業等）の提供を行い、関係機関とも積極的にネットワークの構築を図り、幅広い相談対応をしました。
- ・ 情報ファイルの整理を行い、個別のケースファイルを管理し、継続的にケースの把握、フォローをしました。
- ・ 地域からの相談や課題に対して、3 職種と地域交流・生活支援を含め、地区のアセスメントを行い、地域に求められる新たな事業の立ち上げに努めました。

- ・ 地域や個別の相談からあがる課題を3職種がチームとして検討し、解決に向けての方針を共有します。また対応困難ケースについては区役所や医療機関、ケアマネジャー他、関係機関との連携を図り迅速な対応にあたりました。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・ 成年後見制度を普及させるために、専門家を招き講座を開催しました。後見人の役割を具体的に学び、個別の相談会では適切なアドバイスができました。(任意後見及び法定後見について)
- ・ 法テラス無料相談会を開催し、親族申し立ての方法を弁護士よりアドバイスしました。
- ・ 権利擁護の視点に基づきエンディングノートの書き方講座を開催しました。
- ・ 瀬谷区では消費者トラブルが増加傾向にあるため、高齢者の参加する食事会や介護者のつどいのメンバーに向け最近の手口や注意点についてアナウンスしました。
- ・ 判断能力の低下した方が在宅での生活を継続できるよう専門家と連携しました。相続や金銭管理について親族が相談できるよう支援しました。
- ・ 専門家や主治医、関係機関とカンファレンスを行い親族申し立てについて方向性を共有しました。
- ・ 良い習慣に基づいていきいきと前向きに暮らすこと、終活の一貫として自分自身を振り返ることを目的とし、最新のお葬式知識を開催しました。

② 高齢者虐待への対応

- ・ 虐待の予防に取り組むために危険性の高い家庭への訪問を継続して行いました。
- ・ 医療機関、関係機関と高齢者虐待について情報交換を行いました。
- ・ ケアマネジャーや地域住民、関係機関から虐待の通報(疑いを含む)を受けた場合には速やかに区役所へ報告するとともに協力、連携した支援に取り組みました。
- ・ 介護者支援を目的とし、介護者のつどいを概ね毎月開催しました。オープン講座を開催し、地域住民への周知に努めました。

③ 認知症

- ・ 認知症の正しい理解促進のため、キャラバンメイトと協働し、サポーター養成講座を開催しました。エリア内で連絡会を開催し、キャラバンメイトが主体となって取り組めるよう支援しました。
- ・ 近隣の医療機関に出向き、瀬谷区認知症医療連携についてヒアリングを行うと共に、相談窓口である包括の役割を周知しました。
- ・ 協力医へ依頼し、地域住民に向けた講演会を開催します。相談窓口やはいかいネットワークについて周知しました。
- ・ 家族が早期に相談できる場の提供として、医療相談会を随時開催しました。
- ・ 医療相談会の周知を図るためにチラシの作成や季刊誌への掲載を行いました。
- ・ 認知症カフェの活動支援を行うとともに家族支援に努めました。家族が参加しやすいよう土曜日開催の認知症カフェの立ち上げを支援しました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ 毎月、次月のケアマネカレンダーを担当地域のケアマネジャーに配布する為に事業所を訪問した際、主催研修を行ない、その時のアンケートにて、ケアマネジャーからの相談の際等にニーズの把握を行いました。
- ・ 昨年度末に更新した「瀬谷区福祉マップ インフォーマルサービス編 Vol. 4」をケアマネジャーに周知・配布、民生委員とケアマネジャーの情報共有や連携を深め、支援ネットワーク構築のための取組を行いました。
- ・ 民児協等地域へ出向き介護保険制度・サービスやケアマネジャーの役割が周知できるように説明を行いました。また、民生委員向けに地域ケアプラザの役割説明会を行い、その中でも介護保険サービスやケアマネジャーの説明を行いました。
- ・ ケアマネジャーと民生委員、訪問介護、通所介護、消防署、医師・薬剤師・看護師、医療相談員とのネットワークの構築のための取り組み（情報交換会等）を行いました。
- ・ 生活支援コーディネーター・地域活動交流コーディネーターにも交流会や情報交換会に参加してもらい、そこで出された課題やニーズの中から問題解決のに向けた社会資源開発のために、認知症カフェの開催継続や新規立ち上げをしました。
- ・ WATやピーハイブなど見守りネットワーク事業等へ参加し、意見交換や情報共有をしました。

② 医療・介護の連携推進支援

- ・ 年4回ケアプラザ協力医とケアマネジャーの勉強会や毎月個別医療相談会（申込制）を実施し、身近な医療機関との顔の見える関係作りとネットワーク構築の取組を行いました。
- ・ 医療機関ヒアリングや瀬谷区医療情報更新等で医療機関を訪問し、情報交換を行いました。
- ・ 在宅医療連携拠点・ケアマネットと共催で多職種連携会議～瀬谷区内医師との情報交換会～開催しました。多数の医師が参加し、意見交換が行われ、地域の医療・介護の連携推進を図りました。
- ・ 瀬谷区認知症医療連携に関する交流会に参加し、認知症かかりつけ医と専門病院の連携対応に関しての意見交換を行いました。
- ・ 病院医療相談員とケアマネジャーの連携による適切な支援やサービスが組合せでき、継続的なケアマネジメントが行なえるよう「せやまるカフェ」に出席し、後方支援を行いました。
- ・ 「私がケアマネジャーです」「これをもってかかりつけ医にいこう」など区域で作成した医療連携のためのツールを活用し、よりよい連携が図れるよう周知しました。
- ・ 介護・医療連携推進会議に参加し、情報共有・交換を行いました。

③ ケアマネジャー支援

- ・ ケアマネジャーから相談があった場合、早急に相談内容の把握・三職種+生活支援と検討した上で、同行訪問やカンファレンス・個別ケース地域ケア会議の開催、ケアプラン立案等相談支援等、ケアマネジャーや区役所、関係機関と協議しながら支援を行い、ケアマネジャーの質の向上に努めました。
- ・ ケアマネジャーが、包括的継続的ケアマネジメントを行ない、利用者の自立支援に向けた質の高いサービスが提供できるようスキルアップのための研修を概ね毎月エリア内等で連絡会や勉強会を実施しました。
「事例検討会」「医師との交流会」「多職種連携」「消防署」など地域の社会資源を取り入れた多様なサービス提供ができるような支援をした。また、ケアマネジャーに向けたアンケートを毎回行い、研修でしてほしいことやテーマを投げかけるように

しました。

- ・ 新任就労予定ケアマネジャーに対する研修等を5包括共同で年度に2回行ない、介護保険最新情報や地域の情報を反映した研修を開催しました。
- ・ エリアの居宅介護支援事業所を毎月訪問し、ケアマネカレンダーや研修の案内を配布するとともに、個別の相談に対応しました。また、ケアマネジャーの現状について把握しました。民生委員とケアマネジャーの交流会を開催し、地域アセスメントやそれに対するアドバイスを行いました。生活支援コーディネーター・地域活動交流コーディネーターにも交流会や情報交換会に参加してもらい、そこで出された課題やニーズの中から問題解決のに向けた社会資源開発のために、認知症カフェの開催継続や新規立ち上げをしました。
- ・ 生活支援コーディネーターとは毎日のミーティング等、地域活動交流コーディネーターとはケアプラザ内の会議（6部門会議）やケア会議・その他適宜集まり、連携・共有し、多様な生活携帯や問題を抱える対象者に、地域全体で支援を進められるような体制構築の取り組みをしました。
- ・ 瀬谷区5包括合同にてケアマネ通信を作成し、エリアの居宅介護支援事業所に訪問、配布しました。研修の内容について補足説明を行い、今後の研修参加を勧めました。
- ・ 瀬谷ケアマネット幹事会、定例会に区内5包括で連携して出席しました。また、企画や運営協力を行った。共催で医療・介護の連携のための研修を行いました。

（４）多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・ 個別ケース地域ケア会議を3回行ない、多職種の専門的視点を交えて検討することで、個別支援の充実、参加者の資質向上、関係職種の連携促進に取り組みました。
- ・ 地域ケア会議開催後に、課題解決に向けた連携・協働の準備と調整を実施するよう努めることが出来ました。また、様々な課題解決のため、多職種がスキルアップ出来るような交流会・連絡会の開催を行いました。
- ・ ケアマネジャー・民生委員等による包括レベル地域ケア会議を開催し、グループワークにて専門的視点を交えて検討し、「高齢者をどう見守るか」を地域包括支援ネットワークの構築に向けた取組をしました。生活支援コーディネーターや地域交流コーディネーターにも参加を促し、共に高齢者の実態や地域課題の把握、課題の分析を行ないました。
- ・ 区レベル会議（在宅サポートネットワーク）や地区別計画推進懇談会等多職種参加の連絡会や会議等を開催し、高齢者の実態や地域課題を把握し、課題についても検討しました。
- ・ 前回の地域ケア会議開催後の振り返りを通し、地域の特養やグループホームで認知症カフェの開催継続をすることで課題解決に向けた連携や協働をしました。
- ・ 地域の課題解決に向けて区レベル地域ケア会議を事務局として、区役所と会議開催に向けた取り組みをしました。

（５）介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・ 事業対象者・要支援者の主体性、意欲を引き出し身近で具体的なその人らしい目標を持ったICFの視点による介護予防ケアマネジメントができるように周知・指導に努めました。
- ・ ケアプランの中に、地域のサロンや自主グループ、インフォーマルサービスを取り込む等、地域でその人らしく生活できるように支援しました。委託のケアマネジャーへも研修の中で、地域の元気づくりステーションやインフォーマルマップなど情報提供を行いました。

- ・ 委託を行う場合はケアマネジャーと連携し、同行訪問、利用者情報を整理し引継ぎを行い、情報、課題の共有に努め、適切なケアマネジメントができるよう支援に取り組みました。
- ・ 区役所、5包括で協力して自立を目指した介護予防支援、介護予防ケアマネジメントを实践できるように、委託するケアマネジャー等に10月に研修を行いました。
- ・ 地区社協の依頼により細谷戸地区にて介護保険・介護予防説明会を2～3月に開催します。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・ 介護予防の知識と技術を学ぶ機会の提供のため、文化祭に集まった新たな一般地域の方へ健康チェックをきっかけとして体力向上講座の案内や、JA瀬谷を会場にした口腔衛生の教室の開催、貸館利用をされている男性料理グループの方を中心とした栄養と認知症予防講座などの内容で、声掛けの対象者の工夫や新たな参加者がつながるよう促して介護予防教室の展開をしました。
- ・ 昨年度から相談のあった老人会やサロンの休止状況についての支援として「体力測定会」を仕掛け、老人会の協力のもと介護予防の意識の向上を目的にきっかけを作りました。(事業への参加を促した)
- ・ 介護予防普及啓発事業として、課題の上がっていた地域に向けて「ロコモ予防、元気づくり講座」を全8回行い、その後継続して横浜市介護予防事業である「元気づくりステーション」事業に移行させることができ、地域交流、生活支援、包括で後方支援をしています(週1活動)。また毎月末には定例会を開催し運営会議を設けています。
- ・ 地域の担い手の方へ、「ボランティア」と「自身の介護予防」を兼ねた取り組みの意識付けができるようケアプラザの育成事業や今後の事業の取り組みにも参加を促すとともに、新たに事業から発掘された担い手の方へも同様に働きかけました。
- ・ 介護予防事業や地域活動団体、一般住民に向け「体力測定」を行うことで自身の健康状態の把握をし、継続的に介護予防に取り組む意欲の向上につながるよう支援しました。
- ・ なかなか集客できにくい男性参加者に向けた栄養講座では参加者同士の交流や栄養に関する意欲の向上が見られ、介護予防活動の拡大につながるよう支援しました。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

7 施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ・ 指定管理者として公の施設を効率的かつ公平に管理しました。
- ・ 指定管理者による日常的な点検を実施しました。
- ・ 法定で定められている点検を保守管理業者に委託し実施しました。
- ・ 建物長寿化の観点から小破修繕に努めこまめな修繕を行いました。
- ・ 施設の一部に関しては専門の業者と保守点検契約を結び適切な管理を行いました。

(2) 効率的な運営への取組について

- ・ 水光熱費の節約に努め無駄なエネルギーの削減に努めました。
- ・ 適正な職員配置をし、業務の効率化をはかりサービスの安定に努めました。
- ・ 労務、経費の事務処理に法人本部担当職員と連携を取り、業務の効率化に努めました。
- ・ 法人のメールシステムを活用し、情報の伝達がスムーズにいくよう努めました。

(3) 苦情受付体制について

- ・ ご意見ダイヤルの利用に関する情報を掲示しました。
- ・ 苦情解決の担当者・解決責任者・対応の流れと第三者委員会の設置について掲示し苦情があった際には速やかに対応ができるようにしました。
- ・ 利用者アンケートや登録団体説明会などでいただいたご意見、ご要望についてはその対応した結果を館内に掲示、ケアプラザ新聞に掲載しました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 緊急時マニュアル、防災マニュアルを整備し、もしもの時に備えました。
- ・ 災害時、福祉避難所として機能するべく避難所運営ゲーム（HUG訓練）を実施し避難所で起こり得る状況の理解と適切な対応を学びました。
- ・ 機械警備による日頃の防犯業務を実施しました。入退館の記録を残しています。
- ・ 機械警備のセキュリティカードと鍵は管理台帳で所有者を管理しました。
- ・ 来館される方には挨拶、声かけを行い館内の様子を把握しました。

(5) 事故防止への取組について

- ・ 事故防止時の対応マニュアルを整備し発生時には適切に対応できるよう努めました。
- ・ 事故やリスクが高いと思われる事柄については、法人のリスクマネジメント委員会で情報を共有し再発防止、事故防止に努めました。
- ・ 職員における労働安全衛生、健康管理を整備し労災事故の発生防止に努めました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- 個人情報保護について区役所職員の方に講師を依頼し、指定管理者として個人情報保護について学びました。
- 個人情報を取り扱う指定事業者として、情報の管理、取り扱いの整備、研修の実施万が一の事故発生後の対応マニュアルの整備等を行い適正に対応するよう努めました。
- 個人情報保護のマニュアル整備と確認だけでなく、情報の種類と適切な取り扱いまで深く学び、ケアプラザ職員としての資質向上に努めました。

(7) 情報公開への取組について

- 法人の事業計画書、事業報告書、予算書、決算書を窓口に設置しどなたでも閲覧できるようにしました。
- 広報誌や掲示板を利用し新たな事業、情報を公開しました。また、横浜市からの掲示物はすみやかに掲示しました。
- 介護予防支援事業利用者、通所介護事業利用者、居宅介護支援事業者の記録の開示請求には各契約に基づき適切に対応するよう努めました。今年度請求はありませんでした。

(8) 人権啓発への取組について

- 人権擁護研修を内部研修で実施、多様性を尊重した職場のコミュニケーションについて学びました。
- 区役所で開催される人権啓発研修に施設管理者が参加し、研修内容を説明、資料を回覧し職員の理解と周知に努めました。
- 人権啓発活動として館内にポスターを掲示し人権尊重の啓発活動に努めました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ヨコハマ3R夢プランの推進のためにケアプラザ全体として取り組みました。
- マニフェストに沿ってごみの処分を実施しました。
- 古紙の処分はリサイクルに出し資源の再生に努めました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

従事する職員	社会福祉士	1名
	保健師	1名
	看護師	1名
	主任ケアマネジャー	1名

《目標に対する成果等》

- ・ 事業対象者・要支援者の主体性、意欲を引き出し身近で具体的なその人らしい目標を持った ICF の視点による介護予防ケアマネジメントができるように周知・指導に努めました。
- ・ ケアプランの中に、地域のサロンや自主グループ、インフォーマルサービスを取り込む等、地域でその人らしく生活できるように支援しました。委託のケアマネジャーへも研修の中で、地域の元気づくりステーションやインフォーマルマップなど情報提供を行いました。
- ・ 委託を行う場合はケアマネジャーと連携し、同行訪問、利用者情報を整理し引継ぎを行い、情報、課題の共有に努め、適切なケアマネジメントができるよう支援に取り組みました。
- ・ 区役所、5包括で協力して自立を目指した介護予防支援、介護予防ケアマネジメントを実践できるように、委託するケアマネジャー等に10月に研修を行いました。
- ・ 地区社協の依頼により細谷戸地区にて介護保険・介護予防説明会を2～3月に開催しました。

《その他》

- ・ 介護保険のサービスの利用だけではなく、地域の資源の活用、コーディネーターとの連携などを用いて、地域に根差す支援も行いました。
- ・ ケアプラザで行なう医療相談会の活用などにより、医師からの助言を有効に支援に反映させました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
176	178	181	181	182	186
10月	11月	12月	1月	2月	3月
190	190	199	196	190	186

●居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務）
介護支援専門員 2名（常勤専従）

《目標に対する成果等》

- ・ 地域ケアプラザの居宅介護支援事業者として地域包括支援センターと連携を密にし、ご利用者やご家族、また地域への貢献のため地域ケア会議や民生委員との交流会等に積極的に参加しました。
また認知症や病状の重い人、関わりが困難な人に対して、迅速に適切な支援を行えるよう個々の能力や専門性の向上を目指しました。

《実費負担》

- 通常の事業実施地域以外で居宅を訪問した場合の公共交通機関
- 利用料金の支払い

《その他》

- ・ 個々のケアマネジャーの知識や能力向上のために、地域の総合病院、精神病院や特養、老健等の施設、介護事業所や薬局に見学と情報交換のため積極的に足を運びました。また、担当している利用者の状況をケアマネ全員が把握し、担当者が不在の時にも適切な対応ができるよう取り組んでいます。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
103	107	109	109	119	118
10月	11月	12月	1月	2月	3月
111	112	119	113	122	122

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 活動支援プログラム
- 送迎
- 看護師による健康チェック
- 専門の講師によるカルチャー教室
- 食事提供

《実費負担》

- 1割負担分
 - (要介護1) 692円
 - (要介護2) 817円
 - (要介護3) 947円
 - (要介護4) 1,077円
 - (要介護5) 1,206円
- 食費負担 (おやつ含む) 750円
- 入浴加算 54円
- 紙オムツ、パット代 50円
- 個別機能訓練加算 (Ⅱ) 60円
- サービス提供体制強化加算 (Ⅱ) 7円
- 処遇改善加算 (所定単位数の40/1,000/月)
- レクリエーション費 (教室材料代 200-800円)

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:40 ~ 16:45

《職員体制》

- ・管理者 1名
- ・看護師 1名
- ・生活相談員 1名
- ・介護職員 35名の利用者に対し 7名
- ・機能訓練指導員 1名

《目標に対する成果等》

- ・ 日々多様化するニーズに対し、地域・医療・介護が連携し、ご利用者様が在宅生活を継続できるよう必要な支援を行いました。

《その他》

- ・ 在宅生活を維持できるよう転倒予防や誤嚥の予防につながる機能訓練・プログラムを提供しました。また、散歩や趣味活動など利用者が自主的に活動しやすい環境作りを行いました。

《利用者実績 (延べ人数)》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
873	903	907	937	913	867
10月	11月	12月	1月	2月	3月
870	840	857	757	706	762

● 認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 活動支援プログラム
- 送迎
- 看護師による健康チェック
- 専門の講師によるカルチャー教室
- 食事提供

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担
 - (要介護1) 1,072円
 - (要介護2) 1,188円
 - (要介護3) 1,305円
 - (要介護4) 1,422円
 - (要介護5) 1,539円
- 食費負担（おやつ含む） 750円
- 入浴加算 55円
- 紙オムツ、パット代 50円
- サービス提供体制強化加算（Ⅱ） 7円
- 処遇改善加算（Ⅰ）（所定単位数の104/1,000/月）
- レクリエーション費（教室材料代200-800円）

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:40 ~ 16:45

《職員体制》

- ・ 管理者 1名
- ・ 生活相談員 1名
- ・ 介護職員12名の利用者に対し 4名
- ・ 機能訓練指導員 1名

《目標に対する成果等》

- ・ 日々多様化するニーズに対し、地域・医療・介護が連携し、ご利用者様が在宅生活を継続できるよう必要な支援を行いました。

《その他》

- ・ 在宅生活を維持できるよう活動支援プログラムを通じご利用者様の残在機能の維持や潜在能力を引き出すことに務めました。また、協力医や家族との連携を図り疫病の早期発見につなげ悪化を防止するよう努めました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
138	180	176	179	156	152
10月	11月	12月	1月	2月	3月
161	154	153	143	150	154

● 第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- 入浴
- 活動支援プログラム
- 送迎
- 看護師による健康チェック
- 専門の講師によるカルチャー教室
- 食事提供

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （事業対象者） 1,766円
 - （要支援1） 1,766円
 - （要支援2） 3,621円
- 食費負担 750円
- 紙オムツ・パット代 50円
- レクリエーション代（教室材料代200円～800円）
- 処遇改善加算（Ⅰ） 所定単位数の59/1,000/月
- サービス提供体制強化加算（Ⅱ） 要支援1 26円
- サービス提供体制強化加算（Ⅱ） 要支援2 52円

《事業実施日数》 週 7日

《提供時間》 9:40 ～ 16:45

《職員体制》

- ・管理者 1名
- ・看護師 1名
- ・生活相談員 1名
- ・介護職員35名の利用者に対し 7名（通所介護と一対比に運営）
- ・機能訓練指導員 1名

《目標に対する成果等》

- ・日々多様化するニーズに対し、地域・医療・介護が連携し、ご利用者様が在宅生活を継続できるよう必要な支援を行いました。

《その他》

- ・活動支援プログラムに加え専門の講師による体操や書道など各種教室の充実を図り、心身機能の向上と自立支援に努めました。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
8	8	8	8	8	8
10月	11月	12月	1月	2月	3月
8	9	9	8	8	9

平成28年度「横浜市中原数地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	13,957,740	548,954	14,506,694	14,506,694	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	122,600	122,600	地域事業収入
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	特になし
自動販売機手数料	0		0	0	0	特になし
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	特になし
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	特になし
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,901,000		1,901,000	1,901,000	0	
収入合計	19,848,740	548,954	20,397,694	20,520,294	122,600	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,070,000	0	10,070,000	9,062,580	1,007,420	
本俸	7,650,000		7,650,000	6,923,022	726,978	本俸
社会保険料	800,000		800,000	792,617	7,383	健康保険・厚生年金他
手当計	1,500,000		1,500,000	1,240,310	259,690	職務手当・管理職手当・通勤手当他
健康診断費	0		0	0	0	特になし
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	特になし
退職給付引当金繰入額	40,000		40,000	34,171	5,829	退職積立
その他	80,000		80,000	72,460	7,540	処遇改善加算
事務費	2,215,000	0	2,215,000	2,638,906	423,906	
旅費	8,000		8,000	7,894	106	交通費
消耗品費	200,000		200,000	207,158	7,158	事務用品
会議開催費	2,000		2,000	1,620	380	会議茶代
印刷製本費	40,000		40,000	42,228	2,228	封筒他印刷
通信費	600,000		600,000	661,557	61,557	切手・電話代
使用料及び賃借料	0	0	0	178,500	178,500	
横浜市への支払分	0		0	0	0	特になし
その他	0		0	178,500	178,500	駐車場代
備品購入費	150,000		150,000	199,800	49,800	パソコン一式他
図書購入費	5,000		5,000	5,750	750	参考資料
施設賠償責任保険	30,000		30,000	32,040	2,040	施設賠償保険
職員等研修費	30,000		30,000	39,016	9,016	メンタルヘルス研修他
振込手数料	10,000		10,000	11,340	1,340	振込手数料
リース料	150,000		150,000	156,271	6,271	コピー・FAX他
手数料	240,000		240,000	247,036	7,036	ゴミルート
地域協力費	10,000		10,000	14,400	4,400	連合会定例会他
その他	740,000		740,000	834,296	94,296	業務委託他
事業費	1,232,000	0	1,232,000	657,692	574,308	
運営協議会経費	42,000		42,000	42,124	124	予算：指定額
指定管理料充当 事業	1,190,000		1,190,000	615,568	574,432	アイサービスタイ
管理費	5,718,766	548,954	5,718,766	5,356,639	362,127	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算：指定額
光熱水費	3,500,000	0	3,500,000	3,355,339	144,661	水光熱費
電気料金	700,000		700,000	640,317	59,683	
ガス料金	700,000		700,000	645,995	54,005	
水道料金	2,100,000		2,100,000	2,069,027	30,973	
清掃費	200,000		200,000	195,120	4,880	清掃料
修繕費	474,000	548,954	1,022,954	1,022,954	0	予算：指定額
機械整備費	210,000		210,000	209,790	210	整備料
設備保全費	635,812	0	635,812	440,895	194,917	
空調衛生設備保守	350,000		350,000	262,482	87,518	冷暖房設備保守他
消防設備保守	55,812		55,812	15,481	40,331	消防設備点検
電気設備保守	130,000		130,000	81,188	48,812	自家用電気工作他
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	特になし
駐車場設備保全費	0		0	0	0	特になし
その他保全費	100,000		100,000	81,744	18,256	レジオネラ菌他
共益費	0		0	0	0	特になし
その他	150,000		150,000	132,541	17,459	広報他
公租公課	805,600	0	805,600	725,006	80,594	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	805,600		805,600	725,006	80,594	人件費消費税
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
二一ス対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	20,041,366	548,954	20,041,366	18,440,823	1,600,543	
差引	192,626	0	356,328	2,079,471	1,723,143	

自主事業費収入	1,190,000		1,190,000	0	1,190,000	事業、指定管理料を含む
自主事業費支出	1,190,000		1,190,000	615,568	574,432	アイサービスタイ
自主事業収支	0	0	0	615,568	615,568	自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

**平成29年度「横浜市中屋敷地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)〈包括・介護予防・生活支援体制整備〉**

収入の部						(税込、単位：円)
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	28,770,000	63,000	28,707,000	28,707,000	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	1,263,855	4,525,145	4,525,145	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	9,600	9,600	地域事業収入
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	2,900	2,900	地域事業収入
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	特になし
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	特になし
自動販売機手数料	0		0	0	0	特になし
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	特になし
その他(指定管理充当分)	0		0	0	0	特になし
その他(提案時控除 法人負担分)	1,306,000		1,306,000	1,306,000	0	
収入合計	36,016,000	1,326,855	34,689,145	34,701,645	12,500	

支出の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,360,000		360,000	34,015,732	1,655,732	
本俸	18,000,000		18,000,000	18,598,107	598,107	本俸
社会保険料	4,000,000		4,000,000	4,566,809	566,809	健康保険・厚生年金他
手当計	10,000,000		10,000,000	10,154,155	154,155	職務手当・管理職手当・通勤手当他
健康診断費	0		0	0	0	特になし
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	特になし
退職給付引当金繰入額	200,000		200,000	344,159	144,159	退職積立
その他	160,000		160,000	352,502	192,502	処遇改善加算
事務費	530,000		530,000	863,190	333,190	
旅費	5,000		5,000	8,260	3,260	交通費
消耗品費	70,000		70,000	95,254	25,254	事務用品
会議諸費	0		0	0	0	会議茶代
印刷製本費	0		0	0	0	封筒他印刷
通信費	30,000		30,000	52,979	22,979	切手・電話代
使用料及び賃借料	190,000	0	190,000	199,500	9,500	駐車場代
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	190,000		190,000	199,500	9,500	駐車場代
備品購入費	0		0	0	0	特になし
図書購入費	0		0	0	0	特になし
施設賠償責任保険	20,000		20,000	20,520	520	施設賠償保険
職員等研修費	70,000		70,000	133,262	63,262	メンタルヘルス研修他
振込手数料	15,000		15,000	17,336	2,336	振込手数料
リース料	20,000		20,000	25,523	5,523	コピー・FAX他
手数料	0		0	0	0	特になし
地域協力費	10,000		10,000	25,000	15,000	連合会定例会他
その他	100,000		100,000	285,556	185,556	業務委託他
事業費	1,280,000	0	1,280,000	1,002,360	277,640	
協力医	630,000		630,000	567,000	63,000	予算・指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	190,000		190,000	76,647	113,353	自主事業
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	147,606	3,394	予算・指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	211,107	97,893	予算・指定額
管理費	1,846,000	0	1,846,000	1,277,981	568,019	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算・指定額
光熱水費	1,300,000	0	1,300,000	891,925	408,075	水光熱費
電気料金	300,000		300,000	178,772	121,228	
ガス料金	300,000		300,000	179,102	120,898	
水道料金	700,000		700,000	534,051	165,949	
清掃費	70,000		70,000	51,866	18,134	清掃料
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算・指定額
機械警備費	100,000		100,000	55,766	44,234	警備料
設備保全費	200,000	0	200,000	117,193	82,807	
空調衛生設備保守	100,000		100,000	69,772	30,228	冷暖房設備保守
消防設備保守	20,000		20,000	4,115	15,885	消防設備保守
電気設備保守	40,000		40,000	21,579	18,421	設備整備費総合巡視他
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	特になし
駐車場設備保全費	0		0	0	0	特になし
その他保全費	40,000		40,000	21,727	18,273	エレベーター管理費他
共益費	0		0	0	0	特になし
その他	50,000		50,000	35,231	14,769	調整池保守他
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一対対応費			0		0	
支出合計	36,016,000	0	36,016,000	37,159,263	1,143,263	
差引	0	1,326,855	1,326,855	2,457,618	1,130,763	

自主事業費収入	650,000			12,500		予算・指定管理料に含む
自主事業費支出	650,000			435,360		介護予防事業
自主事業収支	0			422,860		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名：横浜市中屋敷地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日
(単位：千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護	予防通所介護・ 第1号通所介護
収入	介護保険収入	5453	18222	138982	0
	その他	0	0	1662	0
	介護予防ケアマネジメント 費	0	0	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0	0
		0	0	0	0
		0	0	0	0
		0	0	0	0
	その他	0	0	1662	0
	収入合計(A)	5453	18222	140644	0
支出	人件費	0	14967	108701	0
	事務費	57	531	7398	0
	事業費	0	18	8316	0
	管理費	0	0	6717	0
	その他	0	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	0
	介護予防プラン委託料	0	0	0	0
		0	0	0	0
		0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
支出合計(B)	57	15516	131132	0	
収支 (A)－(B)		5396	2706	9512	0

平成29年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
中屋敷カローリング交流会	登録団体	22831	地活	13,631	9,200			18,251	4,580
	46人		包括						
	200円		生活						
中屋敷ふれあい文化祭	地域住民	182,030	地活	146,330		35,700	33,411	104,559	44,060
	2508人		包括						
	0円		生活						
親子でギュッとスキンシップ	未就園児とその保護者	560	地活	560					560
	50人		包括						
	0円		生活						
音の駅コンサート	地域住民	3560	地活	3560					3,560
	17人		包括						
	0円		生活						
DIY講座	地域住民	5116	地活	3,016	2,100		2,500		2,616
	7人		包括						
	300円		生活						
中屋敷一斉清掃	登録団体	4750	地活	4750					4,750
	40人		包括						
	0円		生活						
ぶちボラ	小学生	1876	地活	1876				756	1,120
	0人		包括						
	0円		生活						
レディースキッチン	地域住民	129,457	地活	109,257	20,200		61,248	38,867	29,342
	59人		包括						
	300円		生活						
にじのかけはし	概ね65歳以上の高齢者	74,289	地活	46,189	28,100		4,454	3,675	66,160
	199人		包括						
	100円		生活						
親子チャレンジ「ジャンプ」	小学生以上とその保護者	10,928	地活	10,128	800		5,568	4,800	560
	20人		包括						
	100円		生活						
やる気スイッチON	小学生以上	10,128	地活	8,528	1,600		5,568	4,000	560
	18人		包括						
	100円		生活						
羊毛フェルト教室	地域住民	30,884	地活	20,884	10,000		16,704	12,500	1,680
	27人		包括						
	1,000円		生活						
ほのぼのコンサート	日中独居者・単身高齢者	26,464	地活	26,464				22,274	4,190
	77人		包括						
	0円		生活						
和輪話の会	中途障害者及び言語障害者	22,582	地活	22,582					22,582
	40人		包括						
	0円		生活						
いちごクラブ	未就園児とその保護者	5,158	地活	-142	5,300			5,158	
	111人		包括						
	100円		生活						
親子の広場”ぽこぽこ”	未就園児とその保護者	51,359	地活	41,759	9,600		44,544	1,215	5,600
	56人		包括						
	100円		生活						
ボランティア感謝会	ケアプラザに登録されているボランティア	21,074	地活	21,074			11,136	7,890	2,048
	16人		包括						
	0円		生活						
サロン・ミニディ連絡会	サロン・ミニディの担い手	10,148	地活	10,148				9,588	560
	29人		包括						
	0円		生活						

平成29年度 自主事業収支報告書

レクリエーション交流会	地域住民	408	地活	408					408
	0人		包括						
	0円		生活						
元気作り講座	地域住民	3284	地活	1,642					3,284
	135人		包括	1,642					
	0円		生活						
レクリエーション習得講座	サロン・ミニディの担い手	324	地活	324					324
	25人		包括						
	0円		生活						
認知症カフェ	高齢者、地域の方々	19922	地活		8800			19922	
	90		包括	19922					
	200円		生活						
成年後見制度	高齢者	16705	地活				16705		
	9		包括	16705					
			生活						
介護者の集い ひまわり会	高齢者	9974	地活		800		4454	3020	2500
	69		包括	9974					
	100円		生活						
民生委員交流会	ケアマネジャー・地域の民生委員	1080	地活					1080	
	50人		包括	1080					
			生活						
「正しく知ろう認知症」講演会	高齢者	27000	地活				27000		
	138		包括	27000					
			生活						
ふれあい文化祭寸劇	地域住民	324	地活					324	
	47人		包括	324					
			生活						

平成29年度 自主事業報告書

横浜市中屋敷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
中屋敷 カラーリング 交流会	サークル間の交流や地域コミュニティの構築を目的としケアプラザ利用団体を対象にカラーリング交流会を開催しました。	12月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中屋敷 ふれあい 文化祭	地区センターと共催で、地域住民との交流の場として開催しました。コンサート・血管年齢/骨密度測定・喫茶コーナー・地域作業所の販売コーナーを設けました。	11月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で ギュッと スキンシップ	ケアプラザエリア内にある保育園と共催し合同育児講座を開催しました。地域の未就園児と保護者を集めて交流を図りました。	1月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
音の駅コンサート	二ツ橋第二地域ケアプラザとの共催事業。音楽療法士を迎え、地区にある施設で開催し施設の周知を図ると共に地域住民同士の交流の場を提供しました。	11月・1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
DIY講座	ボランティアセンター、瀬谷区社会福祉協議会との共催事業。講師を招きボランティア活動のキッカケになるよう鉢植えカバーを作成しました。	12月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中屋敷一斉清掃	福祉保健活動支援団体として登録している団体のボランティア活動の提供をするためにケアプラザの貸し部屋清掃を行っていただきました。毎年開催することにより企画を定着させ、福祉保健支援団体にボランティア意識を持ってもらうよう周知しました。	10月、3月・2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふちボラ	地域の小学生にケアプラザを身近に感じてもらうため、また将来的に地域の担い手になってもらうよう事業を通じてボランティア活動をしてもらいました。	偶数月第3土曜日 3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
レディースキッチン	世代を問わず女性だけの料理教室を開き、情報交換と交流の場を提供を行いました。参加者同士の交流の輪を広げ、ケアプラザの事業のボランティアとして協力してもらうなどいずれ担い手となるように支援を行いました。	毎月第4日 11回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
にじのかけはし	高齢者の閉じこもり予防と身体を動かすことによる健康寿命延伸。また、音楽療法を通じて参加者の交流の場を提供しました。地域住民の交流の場となり、様々なケアプラザの事業の周知をおこないました。	毎月第2土曜日 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子チャレンジ 「ジャンプ」	親と子の交流のキッカケ作り。子供だけが楽しむのではなく、親も楽しめる内容にしました。こども、親へのケアプラザの周知を目標とし身近に感じてもらうよう開催しました。	8月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
やる気スイッチON	夏休みの余暇支援事業として、アイスクリーム作りを実施しました。作るだけでなく科学の勉強を通じ子ども達の交流の場を提供しました。小学生にもケアプラザを身近に感じてもらうように開催しました。	7月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
羊毛フェルト教室	多世代交流の場の提供を目的とし、その手段として羊毛フェルト教室を開催しました。11月に開催する文化祭にてケアプラザ事業展示コーナーを設け、そこに展示をしました。	7月・3回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ほのぼの コンサート	民生委員・主任児童委員の協力の下、一人暮らし高齢者や日中独居の方を対象に地域の見守りや支え合い体制を推進目的に開催しました。	6月・1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
和輪話の会	脳血管疾患のある方が障害を持ちながらも閉じこもることなく地域社会に参加できるように仲間と一緒に楽しく言語リハビリを行いました。	毎月第2木・11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いちごクラブ	未就園児とその保護者を対象とした居場所作りと情報交換の場の提供をしました。季節的な催し物を取り入れ参加者向上を図ると共にボランティアの方に協力してもらい活性化に繋げました。保護者と子供が共に成長、学び、子育てに関する相談や悩み事を共有できる場を作り、H30年度より地区団体として自主化しました。	毎月第一木・12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子の広場 ”ぼこぼこ”	地域に住んでいるお母さん同士の情報交換と交流の場、居場所の提供をしました。年度内を通しリトミックや親子遊び等様々な内容を提供し親子に楽しんでもらいました。お母さん同士のネットワーク構築が自然にできるように支援していきました。また、アンケートを毎月取り要望に沿った内容を実施、課題解決に繋げていきました。	毎月第4木・10回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア 感謝会	ケアプラザ内及びケアプラザ外で活動しているボランティアを対象にマジックショーと落語を楽しんでもらいました。 次年度も継続的に活動して頂くようモチベーションアップのために開催しました。	3月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロン ミニディ 連絡会	エリア内のサロン・ミニディを開催している方の交流、情報交換、情報提供を目的としケアプラザとしてはサロンで活躍できるレクリエーション情報の提供、実地指導を行いました。	10月・1月・2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
登録団体説明会	ケアプラザを利用してもらうにあたり公平かつ円滑に利用してもらい積極的に福祉保健活動を行ってもらうため開催しました。各利用団体が予約時のルールやモラルについての認識と災害時における避難路の確認をしました。	5月・1回

平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症カフェ	認知症の本人やその家族が、安らげる居場所づくり	4月～12月 10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
成年後見制度	成年後見制度の普及、啓発	10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者の集い ひまわりの会	介護者の集い介護者のためのリフレッシュ	4月～3月 11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
民生委員交流会	ケアマネと民生委員の顔の見える関係づくり、ネットワークの構築のための交流会	11月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「正しく知ろう 認知症」講演会	認知症が病気であることへの理解及び日常生活の中で、予防できることを学ぶ	10月、11月 3回